

■全国的に地域おこし協力隊を募集しているが、その中で羽幌町を選んだ理由

**木内** 今やっている、自然環境保護の業務での協力隊の募集は珍しく、学生のときに興味があった海鳥とか野生動物に関わることができるといのが、羽幌しかないということとで、ここしかないと思いい、また、勤務場所も海鳥センターということで、自分も勉強できるため、ここを選びました。

**西井** 海鳥はずっと好きだったの？

**西井** 大学のときから鳥のことを勉強していて、その卒論の題材を選ぶときに、天売島のウトウの研究を読んで、こんな面白い島があるんだと思っただけで、大学からここまで来るとはできず研究はできなかったけど、就職先でこうやって関わるのができてうれしいです。

**江打** 東北で震災があったときに、こういう時に何もできない自分がいるなと思っただけで、地域に貢献したいとかそういう仕事に関わりたいと思った時に、たまたま協力隊の募集があつて。

枯れるんですよ。島だと9月・10月まで枯れきつていないんです。植物の成長がだいぶ違って、ここにこれが咲いているとか結構、なんだこれっていうのがありますね。  
**西井** 季節感全然違いますね。桜の時期が違いますね。びっくりです。

**平野** 温暖化もあつて、東京でも3月卒業式には咲いて、4月入学式前には散っていることが最近が多いですね。

**木内** 高校の卒業式とか桜が舞っている感じがありましたよね。高校が埼玉だったからその感じでした。

**西井** 日の出、日の入りも違いますよね。

**江打** 九州からみたら、暗くなるのも、明るくなるのも早い。1時間ぐらい違うのかな。朝起きる時間が（こつちに来て）変わっちゃった。

**西井** でも、1年経つとこつちに染まってきて、向こうに違和感があるようになった。

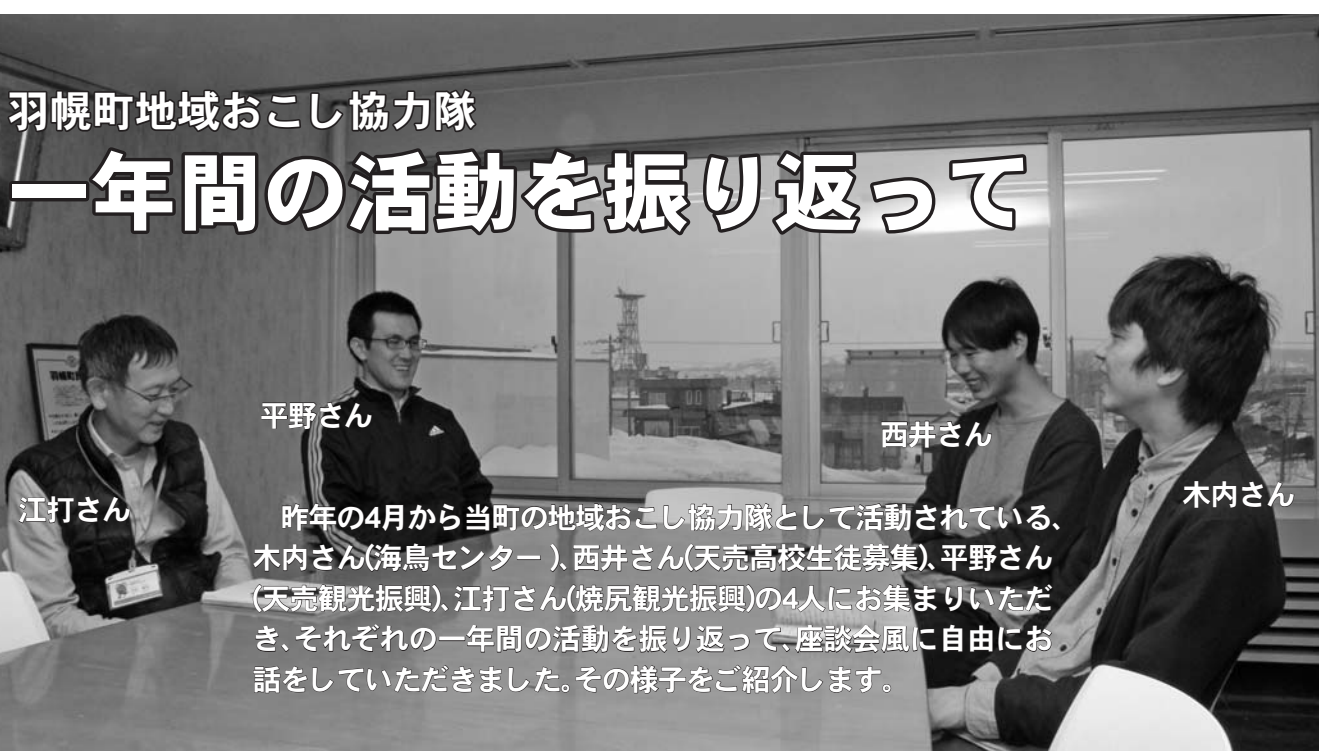
**平野** 3月はやっぱり違うけどね。東京だと今時期は桜って感じだし。気温も20度くらいあったときも。

**木内** こつちは寒いですよ。西井 向こうの人が5度くらいで「寒い、寒い」って言っているのを見て、イラスト。

**木内** 地元に戻ってという感じではなく？

**江打** ではなくて、離島に挑んでみようと思いい、そういうところでやってみて、次に進める何かを見つけられるかなと思つて、今回羽幌町に。道内でも色々（募集が）あつたけれど、あえて離島というところを選びました。結果、それはよかつたと思つています。

**西井** 羽幌とか天売島とかというより、僕は、天売高校を目指してきました。おとしの6月、大学生だった時に普通に就職活動していて、商社の予定だったけれど、普通に（商社に）行ってもおもしろくないと思つていて、何かおも



## 羽幌町地域おこし協力隊 一年間の活動を振り返って

西井さん 木内さん 平野さん 江打さん  
昨年の4月から当町の地域おこし協力隊として活動されている、木内さん(海鳥センター)、西井さん(天売高校生徒募集)、平野さん(天売観光振興)、江打さん(焼尻観光振興)の4人にお集まりいただき、それぞれの一年間の活動を振り返って、座談会風に自由にお話をいただきました。その様子をご紹介します。

しろいところがないかなと見ていたら、生徒5人の高校があつて、誰か一緒に天売高校を盛り上げてくれる人を探して、「これや」とビビッとくるものがあつて、就職活動も決まっていたところも捨て、担当者へメールを送つたんです。8月から来てもらうけど、大学はどうするのと聞かれて、どうしても行きたかつたので、「大学を辞めて行きます。」と言つたら、とりあえず卒業するまで待つので、4月から来てください。というので、僕のきつかけは天売高校でした。

**平野** 東京で行われた協力隊の募集フェアで担当者から説明を受けました。その前に地

方移住のイベントで地域おこしという仕事を知つて、いろんなところからパンフをもらい、話を聞いて、その中で北海道がいいなと思いい、いろいろ見ていたら、東京で北海道だけが集まつて地域おこし協力隊の募集があつて、その中で島というのがあつて、北海道には一回行ってみようかなと思つていて、連絡をしたら、じゃあその日に面接するからという流れで採用になりました。観光もしたかつたし、海鳥は世界規模、甘えびは日本一などそれ以外でもいろいろあるのかなあと、（来てみると）思つた以上の感じで魅力が（自分の中に）入つてきて、それを一つひとつ精査しながら、何をしようかなという感じでした。

**江打** 魅力はいっぱいあるからね。

**平野** 地域おこしの職を求めて二人はこちらへ来たんですね。

**西井** そうですね。天売高校を目指してきたので、協力隊という仕事はこちらに来てからわかりました。

**木内** 平野さんは地域おこしということとで考えていたんですね。

**江打** 送迎等高齢者と繋がりのある仕事が多くなつたが、付き合ひ方が難しい。「寄つていかないかい」としよつちゆう言われる。年齢が高いから、どうコミュニケーションとるか始めのうちは躊躇していた。声をかけてもらえるようになったのは、歩いてうろろろしていた効果かな。

**西井** (来年度、天売高校に)生徒が3人入学してきて、久しぶりに3学年そろろう。

**平野** 天売に来てくれるっていうのは、ありがたい、すごいと思う。

**西井** 生徒全員にフォローができ、先生が目を向けられる。生徒に必ず役割がつく。40人学級ならつかないことも多く、それをうれしがっている生徒もいる。

**平野** 学校祭などイベントでも1人何役もやるというのは、都会と違い、いいこと。  
**木内** 地元(島)の子は1人だけ？  
**西井** 2年生に1人だけ、新入学生の3人もすべて(島)

の企業に就職が自分でそこに行つて起業のどちらかしかないから、いろんな可能性が見えると思つたら、地域おこし協力隊はいい形ではないかと思つてきました。

**木内** 意外と地域おこしというワードで協力隊になる人だけではなく、そつちよりも、離島とか、ぼくなんかは海鳥センターで協力隊になつたんですけれども。そういうピンポイントの募集に応募する人が多いかもしれないですね。

**平野** いろんな地域おこし協力隊の研修に参加させてもらつて、結構メンバー者が多いと思つきました。結構多くて、元々こつちにいたんだけれども、(離れて)また戻ってきたという人が、半数かそれぐらいいいましたね。そう考えると、我々は入り方も違うし、出身も道内があつて、道外の人もいて、結構面白いですね。

### ■羽幌の町に来てみて感じたことや印象

**平野** 動物と植物は、植物の成長のスピード。一番はつきり感じたのは、あじさいが10月から11月まで残っているんです。あじさいって僕たち(の地域では)、6月過ぎると

外から。  
**江打** (島)外から来た生徒の中から、島で生活してくれる人が現れるとうれしいね。  
**西井** 移住定住が難しい中、高校生が単身で天売に3年間住むというのはすごいと思う。今後は、勉強のサポートができればと思う。3年間が楽しく、かつ天売に来たから、この進路にいったということがあるのが理想ですね。

**平野** 一番意外だったのが、羽幌町民の島(に来たことがある)経験の少なさ。  
**江打** 町民割引の期間を設けてでも、1回来てほしいと思つて。

**平野** 島一周ウォーキングが4時間ぐらいなので、そういうイベントを組んだら面白いのでは。運動不足は健康に悪い、健康増進につなげ、オロロンカードのポイントにするなど、町の健康プログラムの一環として、羽幌の人に島に来てもらうのもいいのでは。

協力隊になつて一年が経ち、それぞれ、いろんな活動、体験をされた4人からたくさんのお話を伺うことができました。これからの活動も頑張ってください。